

どーなるの？私たちの暮らし

-大門参院議員を迎え読者のつどい-



日本共産党塩釜地区連合後援会は3月29日、塩釜市コブライタルわかば一で大門実紀史参院議員を迎え、「後援会員・ニュース読者のつどい」を開催し、120人が参加しました。開会に当たり来年の一斉地方選挙の候補者17名の紹介が行われ、3名の新人候補が挨拶しました。

大門議員は国会情勢、経済、平和の問題について講演しました。参院の議席が6から11議席になったことにより、毎回、本会議質問ができるようになり、強行はされたが秘密保護法反対の世論

を急速に高めたこと、ブラック企業規制法案の提出によって厚労省が是正指導に動かざるを得なくなったことを紹介。経済と暮らしの問題について、アベノミクスとは円高、株高をすすめ、バブルをつくるのが狙いであり、格差を拡大する二極化政策であることを解明。消費税増税は天下の愚策であると糾弾しました。

集団的自衛権の問題について、日米軍事共同作戦を進めるのが最大の眼目だと語り、「憲法9条と平和を守り抜く戦後最大のたたかいがこれから始まる。全力でたたかおう」と訴えました。

大門議員は参加者の質問に一つひとつ丁寧に答えました。

3月27日 市議会臨時会

多賀城市立図書館「指定管理条例」可決

「事実上CCCへの指定管理条例」 共産党市議団は反対

3月27日に開かれた市議会第1回臨時会で「多賀城市立図書館条例の一部を改正する条例」が審議され賛成多数で可決されました。同条例は多賀城市立図書館の運営を指定管理する際の指定管理者が行える業務について定めるものです。

党市議団は「昨年12月市教育委員会は『CCCを指定管理者の候補者として予定』と表明しており、事実上CCCへの指定管理条例である」と反対。柳原きよし市議が反対討論を行いました。採決の結果、共産党市議団4名と竹谷英昭、昌浦泰已両市議が反対、賛成11名で可決されました。

当局は、4月以降指定管理者候補者選定のための業務を開始し、6月以降図書館移転後の運営計画等の検討・作成というスケジュールを示しています。

柳原市議の反対討論【要旨】

この条例は「図書館の業務を指定管理者に行わせることができる」というものだが、市教育委員会は昨年12月、「指定管理者にCCCを候補者として予定している」ことを表明しており事実上、CCCへの指定管理と一体の条例であり、賛成することはできない。

市教育委員会は市民からのパブリックコメントも求めず、市民の意見よりCCCの意見のみに耳を傾ける姿勢を変えようとしていない。新図書館は施設面でも、運営面でも大きな問題を持っており、本当にCCCに図書館を委ねて良いのか、真面目な検討がなされたとは到底思えない。CCCの社長は「図書館は本のレンタル屋だ」と言い放ち武雄市図書館では司書が物販のレジ打ちをしている。このような団体を公募によらない指定管理先とし、また指定管理と直営の場合のコストの比較表といった基礎的な資料さえ提出されていない。そもそも自治体の主人公は住民であり、住民とともに歩むというのが本市のモットーだったはずであり、図書館は図書館の理念をつらぬくというのが昨年6月議会での答弁である。いまいちど原点に立ち戻ることを強く求め反対討論とする。

2014'お花見のご案内

とき **4月27日(日)**
午前11時～午後2時

ところ **留ヶ谷集会所**
留ヶ谷1丁目41-29 (市営留ヶ谷住宅近く)

会費 **500円**

豚汁・ビール・おつまみ付き お気軽にご参加ください、お待ちしております。
主催：多賀城市日本共産党後援会
(問い合わせは 電話364-3222 または共産党議員まで)

